

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 726 号 令和 3 年 11 月

令和 3 年度獣医学術中国地区学会出席報告

副会長理事 白 永 伸 行

さる10月17日(日)に広島市において令和3年度の獣医学術中国地区学会がホテルグランヴィア広島で開催されました。昨年度は岡山県にて開催予定でありましたがCOVID-19の蔓延により中止となり、本年はコロナ禍の経験に基づいてなんとか開催にこぎつけたという広島県獣医師会の強い意志で当初対面の学会開催を予定されていました。これは学会開催準備の会議の時点では来年2月に神戸市での日本獣医師会獣医学術学会年次大会の開催方式は対面を想定しており、中国地区の学会長賞受賞者がオンラインでしか年次大会での発表を希望しないとかになると本会に混乱を生じてはいけないという理由でした。ところがコロナ感染患者数のいわゆる第5波が襲来し、日獣本会はオンライン開催に切り替えたため、急遽中国地区学会も会場での対面形式をとりやめ、中国地区獣医師大会やその他の職域関連会議も今回は中止となりました(翌週中国地区獣医師会長会議は開催)。

学会は産業動物38題(うち山口県8題)、小動物45題(うち山口県17題)、公衆衛生25題(うち山口県2題)の発表演題数でありました。当初審査員だけは会場に集まり全員で動画を見て審査を行う手はずでありましたが、コロナ渦において大学や公務員関係者は他県への出張にまだまだ制約も多く、審査員も揃わない状況となり、発表者の送られてきた動

画を事前に各自で視聴してその採点を行うことになりました。そして当日の選考会には出席できる委員だけ集まることとなり、山口県から出席可能であった、小動物学会の地区学会幹事/地区学会長選考委員である私が審査結果を携えて当日出席した次第です。

当日開催に当たり、広島県獣医師会の木原会長からこれまでの経緯の説明があり、開催に当たり、変更が多かったことを陳謝されました。そして審議が行われ、審査結果により、山口県からは下記の演題が地区学会長賞を受賞いたしました。

「フレンチブルドックの脳腫瘍：24症例」

菅野瑞起 他(山口大学共同獣医学部獣医放射線学講座)

山口県からはこの1演題ではありましたが、各審査員から絶大なる好評で中国地区の一番の成績を収め、年次大会でも好成績を収められるのではという期待の声が多くありました。

最後になりましたが、異例づくめの開催となり、この場を借りて広島県獣医師会の運営関係諸氏のご尽力に敬意を表したいと思います。また来年は山口県が開催担当となりますので、今年の経験と課題をふまえて、そしてコロナ渦がどのような状況になるかが不明ではありますが、成功裏に納めたいと強く思っております。



令和3年度第1回支部長会議開催

常務理事 酒 井 理

令和3年10月14日(木)午後1時30分から県獣医師会館2階会議室において、対面とオンラインのハイブリッド方式により、令和3年度第1回支部長会議を開催しました。

会議では、「今年度事業について」「令和4年度事業について」「会報広告等取扱内規の一部改正について」の3つの議題と、その他として、(公社)日本獣医師会(以下「日獣」という。)から提供された2つの情報について、説明・協議を行いました。

議題1 令和3年度事業の進捗状況については、

- ①8月末に開催した県学会は、発表演題29題、参加者70名と盛況な学会となったこと。
- ②本会主催の講習会は、産業動物部門を11月20日(土)、獣医公衆衛生部門を12月12日(日)、小動物部門を1月16日(日)に開催する予定であること。
- ③SFTS検査に係る症例等の集積では、検査を依頼する際の本会への情報提供がない場合があるので、再度周知を図りたいこと。
- ④狂犬病予防注射では、年々減少している集合注射頭数が、今年度は昨年を上回ったこと。
- ⑤新型コロナに感染し、入院する必要がある感染者等が飼育していたペット動物を、動物愛護管理法の保管登録している動物病院が預かっていること。
- ⑥今年度上半期に、本会事務局に寄せられた動物に関する相談が13件あり、多くは、傷病野生鳥獣に関するものであったこと。
- ⑦会員への情報提供は、主にホームページやメールを活用しており、パソコンや携帯のメールアドレスを本会事務局に提供して欲しいこと。
- ⑧8月に3年に一度の会員名簿を発行したが、会員の住所等に変更があった場合は、日獣に報告が必要であるので、本会事務局に連絡して欲しいこと。

⑨自由民主党山口県支部連合会の政策聴問会において、全国家畜保健衛生職員会から本会への要望を踏まえて、昨年と同様、「災害対策」と「勤務獣医師の処遇改善」についての要望書を提出したこと。

⑩県獣医師会館については、令和10年に取得するとされた現行の計画について、建設場所や規模、資金調達等についての課題や問題点を整理し、本会内部に検討組織を立ち上げようとしていること。

議題2 令和4年度の事業の準備については、

- ⑪来年は、本会が獣医学術中国地区学会の引き受けで、9月3日(土)4日(日)に、山口市で開催する予定としており、来年度は県学会を開催しないこと。
- ⑫狂犬病予防関連では、市町との協定による集合注射料金を来年度は現行どおりを予定しており、登録鑑札や啓発ポスター等の作成を進めていること。

議題3では、本会ホームページのバナー広告料金を設定するために、会報広告等取扱内規の一部を改正しようとしていること。

その他の日獣からの情報提供については、

- ⑬販売される犬猫へのマイクロチップ(以下「MC」という。)装着が義務づけられる、来年6月の改正動物愛護管理法の施行にあわせて、MCの装着を狂犬病予防法に基づく犬の登録と見なすための手続きが検討されていること。
- ⑭来年5月の愛玩動物看護師法の完全施行に向け、国において愛玩動物看護師カリキュラムの検討等が行われていること。

出席者からは、県獣医師会館新規取得について、「老朽化が進んでおり早く検討を進めるべき」、「会館取得が会費の値上げにつながらないようにすべき」等の意見がありました。



日本獣医師会会長表彰及び中国地区獣医師会連合会会長表彰状伝達式

書記 木村京子

令和3年10月14日、山口県獣医師会館において、日本獣医師会会長表彰及び中国地区獣医師会連合会会長表彰状の伝達が行われました。

例年は、獣医学術中国地区学会の開催に合わせて表彰式が行われますが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、広島で開催予定の学会の対面



開催が中止となったことから、第1回支部長会議終了後に伝達式が行われました。

受賞された先生方には、獣医師会ならびに獣医事の発展に向けた長年のお取り組みに敬意を表すとともに、心からお祝い申し上げます。

受賞された方は次のとおりです。

【日本獣医師会会長表彰】

氏名	支部名
藤澤 広司	山口支部
河本 芳象	岩柳支部

【中国地区獣医師会連合会会長表彰】

氏名	支部名
森崎 次郎	岩柳支部
平田 晃一	山口支部
元永 博次	長北支部

山際経済再生担当大臣来訪

常務理事 酒井 理

10月27日、山際大志郎経済再生担当大臣が獣医師会館を来訪されました。

山口支部中間實徳先生が本会会報10月号に投稿された記事で、山際大臣が山口大学農学部獣医学科出身の獣医師であることを紹介されましたが、同大学では、白永副会長の1学年後輩にあたり、学生時代を懐かしんでおられました。

山際大臣は、新しい資本主義・経済財政政策などに加え、新型コロナ対策も担当されており、田中会長が大臣就任のお祝いの言葉とともに、全国の地方衛生研究所で実施されている新型コロナのPCR検査に、多くの獣医師が携わっていることを紹介しました。

山際大臣は、疫学に精通した獣医師として新型コ

ロナ対策に取り組み、獣医師の社会的な地位の向上にも貢献したいと話しておられました。

今後、益々のご活躍をお祈りいたします。



大学の先輩が用意した花束を持つ山際大臣

令和3年度獣医公衆衛生講習会（市民公開講座）のご案内

下記のとおり開催します。皆様の参加をお待ちしています。 [別添チラシ参照](#)

- 開催日時：令和3年12月12日(日) 13時30分～15時30分
- 演 題：「多頭飼育問題や高齢動物の問題行動等の予防と対策」
- 講 師：日本獣医生命科学大学 水越美奈教授
- 会 場：防長苑（山口市熊野町）
- 申込方法：11月25日(木)までに、「メール」「郵便はがき」または「FAX」に次の事項を記入して申し込みしてください。
①氏名 ②住所 ③郵便番号 ④電話番号

獣医師会報エッセイ「近況報告」

豊浦支部 坂田 芳 則

(下関農林事務所畜産部)

この度の獣医師会報エッセイを担当する下関農林事務所畜産部主任技師の坂田芳則と申します。獣医師会報エッセイにはこれまでに何回か寄稿しておりますが、今回は近況を中心に報告したいと思っています。今年で下関農林での勤務も3年目を迎え、業務においても小家畜防疫を担当し、HPAI防疫演習では役割を任される等、忙しい毎日を過ごしております。

ところで、この数年は私生活でも新型コロナウイルス感染症に大きく影響された日々であったと感じています。特に、全国高校野球を始め、様々なスポーツ・音楽イベントが中止となりました。私の暮らす下関市豊田町でも毎年恒例の豊田蛸祭りが2年続けて中止されるという異例の事態になりました。こうしたイベントの中止に伴い、町の雰囲気も活気が消えたものとなり、とても寂しい限りでした。また、2020年夏に開催予定であった東京オリンピックも開催延期となり、中止も予想される事態となりました。私もオリンピック期間中は実家に帰りたくと考えていたのですが、感染収束の気配も無く、願いは叶いませんでした。最終的に無観客開催が決定し、幸い大きな問題も無く競技日程を終えることができたのは記憶にも新しい所です。多くの熱戦で大会も盛り上がり、海外からの旅行者に日本のおもてなしを示す良い機会になりました。

新型コロナウイルスの流行に伴い、ソーシャルディスタンスやステイホームなどの行動変化が求められました。コロナ流行前の休日には、旅行や釣り

などに外出することも多かったのですが、最近では外出自粛に慣れてしまったせいか、外に出かける機会も少なくなったように感じます。自粛期間当初は運動不足の解消のため近所のランニングなどに励んでいましたが、結局三日坊主に終わり走らなくなったことは残念です。また、この自粛期間は、これまで後回しになってきた様々な家事雑事に目が向き、取り組みました。長年貯まっていた部屋の片付けや整理、これまで自分ですることのなかったボタン付け等の裁縫（新しい裁縫道具を購入しました）、料理のレパートリーが増えたこと（鯛やカレーの煮付け）など、多くの事が挙げられます。これまで休みの度に特別な目的もなく外出していた生活習慣を見直す良いきっかけになったのではないかと思います。また、感染の拡大とともに、経済面は大きく減速しましたが、その反面、多くの変化があったように感じます。新しい働き方（リモートワークの活用）、夜間照明の削減やレジ袋有料化の普及などです。今後、こうした意識変化が環境負荷の軽減等につながっていくことを期待しています。

ここ最近の全国の感染者数は大きく減少していますが、変異ウイルス株の流行などに伴い、この冬も新たな感染拡大（第6波）が予測されています。依然として油断のできない状況が続きますので、個人的にも感染対策に充分注意したいと思っています。以上、最近の近況報告をさせて頂きましたが、皆様も体調管理にはくれぐれも気を付けて下さい。それではこの辺で失礼させて頂きます。



アパートからの景色

【本の紹介】「人とどうぶつの血液型」 近江俊徳 編著

山口支部 中間 實徳

(山口大学名誉教授・東亜大学獣医看護学コース客員教授)

この本の編著者・近江俊徳博士は、東京農業大学卒業後、自治医科大学医学部研究生を経て、医学博士を取得後、同大学の法医学人類遺伝学部門助手からスイス連邦工科大学チューリッヒ校・動物科学研究所へ2年間留学。その後、(学)日本医科大学・日本獣医生命科学大学の助教授・准教授を経て、現在日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学基礎部門(比較遺伝学分野)の教授である。また、私が理事を務める日本動物保健看護系大学協会(9大学)の会長でもある。

本書は、近江博士が第1章から3章を執筆、第4章のパート1を谷慶彦・大阪府赤十字血液センター所長と安井正樹・同センター学術・品質課長が分担執筆し、同章のパート2は皆上大吾・現東京農工大学准教授が分担執筆している。各章の概要を下記に紹介する。

第1章 血液型ってなに？ (7項目)

- 血液の成分とはたらき
- 血液型ってなんのこと？
- いつから血液型はあるの？
- ABO式血液型
- Rh式血液型
- 血液型の種類
- 血液型と病気の関連性

第2章 動物たちの血液型 (15項目)

- 動物たちにも血液型はある！
- ニワトリ、アヒル、クジラ、ウマ、ヤギ、ヒツジ、ウシ、ブタ、ウサギ、マウス、イヌ、ネコ、チンパンジー(霊長類)など13種の血液型について

- 魚にも血液型がある！

第3章 これですっきり！ 血液Q&A (19項目から抜粋して記載)

- どうして血は赤いの？
- 赤くない血液はあるんですか
- 蚊が吸った血液はだれの血液かわかるのでしょうか？
- 寿命で役割を終えた赤血球はどうなっちゃうの？

- 輸血で万能な血液型ってO型ですか？
- 違う生物どうして輸血することはどうしてダメなんですか？

- 血液型ってどうやって決まるんですか？

- 親と違う血液型になるのはどうしてですか？

第4章 知っておこう輸血・献血事情

- パート1：人の輸血・献血

- パート2：犬と猫の輸血・献血

動物病院でできる血液型の検査方法

本書はすべてカラーの絵で説明されており、とても判り易く、獣医師や獣医学生、他動物看護師や動物看護学生にも役立つものとする。

「人とどうぶつの血液型」 近江俊徳 編著

(株) 緑書房 発行 <http://www.pet-honpo.com>

2019年1月20日 第2刷発行 pp.151

定価： 本体1,800円(税別)

注：この書籍は本会事務局にあります。貸出もできますのでどうぞ！



お知らせ

令和3年度獣医公衆衛生講習会(中国地区)のご案内

(公社)岡山県獣医師会から、次のとおり開催案内がありました。

- 開催日時：令和3年11月26日(金) 14時～16時
- 演 題：「高病原性鳥インフルエンザ～農場バイオセキュリティの強化について～(仮)」
- 講 師：東京農工大学 竹原一明教授
- 開催方法：オンライン
- 申込方法：岡山県獣医師会あてに、メールに次の事項を記入して申し込みしてください。
 - ①所属獣医師会名 ②勤務先 ③氏名
 - メールアドレス：oka-vet@rose.ocn.ne.jp

第17回山口大学動物医療センター総合臨床セミナーのご案内

山口大学共同獣医学部から、次のとおり開催案内がありました。 **別添チラシ参照**

- 開催日時：令和3年12月5日(日) 12時30分～17時
- 演 題：①「Y U A M E Cにおける口腔内メラノーマへの治療戦略」
～外科、内科、放射線科の視点から～
②「知って役立つ メラノーマの病理&細胞診」
- 講 師：①山口大学附属動物医療センター 板本和仁先生、水野拓也先生、井芹俊恵先生
②アイデックスラボラトリーズ(株)下ノ原望先生、平岡博子先生
- 開催方法：対面又はオンライン
- 対面会場：山口大学吉田キャンパス 連合獣医学研究科棟4階大講義室
- 申込方法：山口県内の方は登録不要、ハンドアウト代2,000円(詳細はチラシを参照)

事務局だより

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 9月27日 ・高村正大衆議院議員来訪(獣医師会館) | 10月22日 ・消防点検(獣医師会館) |
| 10月1日 ・全国獣医師会会長会議(書面開催) | 10月24日 ・中国地区獣医師会連合会会長会議(広島市) |
| 10月6日 ・山口大学動物慰霊祭(山口大学) | 10月25日 ・杉田水脈衆議院議員来訪(獣医師会館) |
| 10月14日 ・第1回支部長会議(獣医師会館) | 10月26日 ・会報編集委員会(獣医師会館) |
| 10月14日 ・表彰状伝達式(獣医師会館) | 10月27日 ・山際大志郎衆議院議員来訪(獣医師会館) |
| 10月17日 ・獣医学術中国地区学会審査会(広島市) | 10月28日 ・第3回理事会(獣医師会館) |
| 10月19日 ・県生活衛生課協議(獣医師会館) | 10月7日、27日 ・事業推進会議 |
| 10月21日 ・会計事務所協議(獣医師会館) | |

次回編集委員会 11月30日(火) 13:30～

山口県獣医師会会報 第726号 令和3年11月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 上田晋平

発行責任者 田中尚秋

印刷 コロニー印刷

令和3年度 市民公開講座

12月12日(日)
13:30～15:30

主催：公益社団法人山口県獣医師会

多頭飼育問題や高齢動物の 問題行動等の予防と対策

～人と動物の調和のとれた快適な暮らしづくり～



みずこしみな
講師 **水越美奈氏**

【日本獣医生命科学大学教授・獣医師・獣医学博士】

- ・大阪府立池田高校卒業
- ・日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科修了
- ・日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科教授
- ・日本獣医動物行動研究会 獣医行動診療科認定医
- ・(社)日本動物病院福祉協会(JAHA)認定家庭犬しつけインストラクター
- ・環境省 中央環境審議会動物愛護部会委員
- ・厚生労働省 身体障害者補助犬の訓練及び認定等のあり方検討会委員 他

会場

防長苑（山口市熊野町）

参加無料

定員

70名程度 ※お申込みが定員を超える場合は抽選とさせていただきます。

申込方法

「メール」または「郵便ハガキ」に次の事項を記入して、お申込みください。
①氏名 ②住所 ③郵便番号 ④電話番号（日中連絡がにつながる番号）

応募締切

令和3年 **11月25日(木)**まで（ハガキの場合は必着）

※ 参加される方は、新型コロナ感染症対策にご協力をお願いします。

申込み・問い合わせ先

公益社団法人山口県獣医師会

〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3

083-972-1174（平日9～17時）

ホームページ：http://www.yamaguchi-vet.or.jp/

メールアドレス：ypavm@yamaguchi-vet.or.jp



YAMAGUCHI UNIVERSITY

第17回山口大学動物医療センター 総合臨床セミナー

2021年12月5日(日曜日)
会場:山口大学吉田キャンパス
連合獣医学研究科棟4F大講義室
(ハンドアウト代:2,000円*)

* 今回、山口県内の方は登録不要、ハンドアウト代2,000円、対面での実施、
県外の方はメールで事前登録が必要、オンラインでの参加となります。
オンラインの場合、参加費は無料とさせていただきます。あしからずご了承ください。

開演挨拶(12:30-)
教育講演(12:35-17:00)

『YUAMECにおける

口腔内メラノーマへの治療戦略』

～外科、内科、放射線科の視点から～

板本 和仁 先生、水野 拓也 先生、井芹 俊恵 先生

山口大学附属動物医療センター(YUAMEC)

『知って役立つ メラノーマの病理&細胞診』

下ノ原 望 先生、平岡 博子 先生

アイデックスラボラトリーズ株式会社

問い合わせ先

獣医内科学分野 上林聡之、獣医外科学分野 砂原央

yuamec2@yamaguchi-u.ac.jp

YAMAGUCHI UNIVERSITY